

—ご案内—

「教学と現代」：これからの社会と天理教

—ポスト教祖百三十年祭を見据えて—

「家族をめぐる諸問題」

◎趣旨文：

我が国では少子高齢化、格差社会、無縁社会、地域の過疎化などが深刻になっています。これらの社会の基礎になっている単位は家族です。核家族や大家族、ステップファミリーや同性カップルなど、さまざまな家族の形態があります。また現在、子供の虐待やDV、また老老介護など、家族は多くの問題をかかえています。さらには、非婚化やシングル志向が近年強まっています。今後この家族はどのように変容していくのでしょうか。こうした問題群には個別的な対応がそれぞれに急がれますが、それと同時に中長期的な視野でいわば鳥瞰的に考えていくことが求められます。天理教の実践教学の立場からも、これらを近未来の社会問題として取り組んでいくことが必要になってきます。

そこで、おやさと研究所では、教祖百三十年祭が挙行される2016年から3年間、「これからの社会と天理教—ポスト教祖百三十年祭を見据えて」というテーマで特別講座「教学と現代」を開催していくことになりました。

第1回（2015年度）は無縁社会などの観点から社会構造の問題として家族をめぐる問題を取り上げ、天理教からどのような対応が可能なのかを論じます。第2回（2016年度）は社会福祉的な専門性や実践から天理教的家族観の近未来を扱い、第3回（2017年度）は生命倫理の見地から家族の生老病死をめぐる諸問題と天理教からの応答というふうに、順次取り上げていく予定です。このように3年計画で、家族問題に取り組むことを通じて、互い立てあいたすけ合いの社会作りを考える手掛かりにしていきたいと思えます。

教内外の関心のある皆さまの聴講を広く歓迎いたします。

第1回：「家族問題」—たすけ合いの社会を目指して

基調提言：「天理教学から家族問題を考える」（深谷忠一・おやさと研究所所長）

第1講：「類人猿の社会から見た人間の家族」（佐藤孝則・おやさと研究所教授）

第2講：「現代の家族の姿とそのゆくえ」（石飛和彦・天理大学人間学部教授）

第3講：「家族をめぐる天理教の教え」（堀内みどり・おやさと研究所教授）

総合討議

◎開催日時：2016年3月25日（金）午後1時30分～5時

◎開催場所：天理大学研究棟（3階）第1会議室

事前の申し込みは不要です。
直接、会場にお越しください。

グローバル天理
第17巻 第3号（通巻195号）

2016（平成28）年3月1日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion
Tenri University

発行者 深谷忠一
編集発行 天理大学 おやさと研究所
〒632-8510 奈良県天理市杣之内町1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <http://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/j-home.htm>

E-mail oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

印刷 天理時報社

Printed in Japan